

西脇市立西脇病院
改革プランの推進状況
(令和元年度)

令和2年1月28日

目 次

I 令和元年度11月末の収支状況

1	概況	・ ・ ・ ・ ・	P 3
2	収支状況	・ ・ ・ ・ ・	P 4
3	経営指標	・ ・ ・ ・ ・	P 5

II 改革プランの目標進捗状況

1	基本事項	・ ・ ・ ・ ・	P 6
2	医療の質の向上	・ ・ ・ ・ ・	P 7 ~
3	経営資源の強化	・ ・ ・ ・ ・	P 11 ~
4	職員の確保と意欲向上	・ ・ ・	P 20 ~
5	再編・ネットワーク化	・ ・ ・	P 23 ~

I 令和元年度11月末の収支状況

1 概況

1日当たり入院患者数は282.9人となり、平成30年11月(291.4人)を8.5人下回った。外来患者数は484.2人となり、平成30年11月(501.5人)より17.3人下回った。

病床稼働率については、88.4%となり、平成30年11月(91.0%)より、2.6ポイント下回った。

当年度純損益では、△27,397千円となり、平成30年11月(83,507千円)と比較して110,904千円減少した。

2 収 支 状 況

(単位:百万円)

区 分		H30年度 11月累計	R元年度 11月累計	対前年		
				増減	比率(%)	
収 益	総 収 益	5,398	5,387	△ 11	99.8	
	医 業 収 益	5,055	5,020	△ 35	99.3	
	うち	入 院 収 益	3,529	3,519	△ 10	99.7
		外 来 収 益	1,139	1,105	△ 34	97.0
		そ の 他	387	396	9	102.3
	そ の 他 の 収 益	343	367	24	107.0	
費 用	総 費 用	5,314	5,414	100	101.9	
	医 業 費 用	5,189	5,290	101	101.9	
	うち	職 員 給 与 費	2,770	2,812	42	101.5
		材 料 費	1,084	1,067	△ 17	98.4
		経 費	817	902	85	110.4
		減 価 償 却 費	485	476	△ 9	98.1
		そ の 他	33	33	0	100.0
そ の 他 の 費 用	125	124	△ 1	99.2		
差 引	経 常 損 益	91	△ 21	△112	—	
	純 損 益	84	△ 27	△111	—	

3 経営指標

区 分		単位	R元年度 目標	H30年度 11月実績	R元年度 11月実績	対前年		評価	
						増減	比率(%)		
業 務 量	患 者 数	1日当たり 入院患者数 (病床稼働率)	人	293.0	291.4	282.9	△ 8.5	97.1	C
			%	89.4	91.0	88.4	△ 2.6	—	
		平均在院日数	日	15.0	16.5	16.2	△ 0.3	98.2	B
		1日当たり 外来患者数	人	530.0	501.5	484.2	△17.3	96.6	C
	診 療 単 価	入 院	円	51,100	49,640	50,986	1,346	102.7	B
		外 来	円	14,500	13,603	14,092	489	103.6	B
		入院・外来収益	億円	73.2	46.7	46.2	△ 0.5	98.9	C
財 務 指 標	経常収支比率	%	100.3	101.7	99.6	△ 2.1	—	C	
	職員給与費比率	%	58.0	54.8	56.0	1.2	—	B	
	材料費比率	%	21.5	21.4	21.3	△ 0.1	—	A	
	経費比率	%	19.4	16.2	18.0	1.8	—	B	

[評価方法 A:実績>目標・前年 B:目標>実績>前年、前年>実績>目標 C:目標・前年>実績]

Ⅱ 改革プラン目標進捗状況

1 基本事項

(1) 今後果たすべき役割		
取組状況	<ul style="list-style-type: none">3.0テスラMRIの運用強化地域医療支援病院の承認要件を維持認定看護師資格の取得臨床研修指導医資格の取得	自己評価
		B
(2) 一般会計繰出金		
取組状況	<ul style="list-style-type: none">総務省繰出基準による負担 【元年度 総額 1,000百万円】 収益的収支 608百万円 資本的収支 392百万円	自己評価
		A
(3) 病院と地域の連携		
取組状況	<ul style="list-style-type: none">第11回西脇病院フェスタの開催 (医師会、薬剤師会、小児医療を守る会、地域医療を支える市民の会、商業連合会及び市民等との共同実施)市民フォーラム、地域医療検討会への参加「西脇市の地域医療を守る条例」に対応した普及啓発の強化	自己評価
		A

2 医療の質の向上

(1) がん治療の医療体制の構築

主な取組目標	<ul style="list-style-type: none"> a がん診療連携拠点病院の継続 b 緩和ケア食の構築 c 緩和ケアチームへの協力 d 病診連携の強化 e 人間ドックのオプション検査等 f がん関連認定看護師等の育成 	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> a. 緩和ケア提供体制の充実等がん診療連携拠点病院の指定更新に向けて体制整備を進めた。 b. 関係各科と調整し、整備中。 c. 主治医が緩和ケアチームと連携し、迅速かつ適切にがん患者の苦痛に対応できるよう院内統一の緩和ケアスクリーニング手法の導入を引き続き進めている。 d. 緩和ケア研修会の開催、がん患者緊急時対応リストを活用した在宅患者の受け入れを通して、病診連携の強化に努めている。 e. 乳がん検診について、女性スタッフでの対応を継続し、受診の促進に努めている。 f. がん性疼痛看護認定看護師、緩和ケア認定看護師、がん化学療法看護認定看護師が中心となり、看護師の育成に取り組んでいる。 	自己評価
	B			

主な実績	項目		H30年度実績	R元年度目標	R元年度(11月末)	R元年度(見込み)	推進状況
	新入院がん患者	(人)	995	1,100	815	1,000	B
放射線治療	(人)	2,076	2,000	1,358	2,040	B	
外来化学療法	(人)	1,214	1,200	857	1,200	B	
3がん(子宮、肺、乳)合計検診	(人)	1,483	1,440	978	1,350	C	
高度機器(CT,MRI,RI,マンモ)撮影件数	(件)	24,297	24,475	16,270	24,430	B	

2 医療の質の向上

(2) 脳卒中治療の病病、病診連携体制の構築

主な取組目標	a. クリニカルパスの効果的な運用	取組状況	a. クリニカルパスの効率的な運用のため、圏域内の連携病院を増やしていく。				自己評価
	b. 3.0テスラMRIの運用		b. 平成26年7月から稼働している。				
c. 認定看護師の育成 (摂食嚥下障害)	c. 摂食・嚥下障害看護認定看護師を入院棟に配置し、NSTなどの活動を行っている。				B		
d. 緊急時の積極的な受け入れ	d. 減員となっていた脳外科医を増員することで、緊急時を含め、脳外科全体の診療体制強化を図った。						
主な実績	項 目		H30年度実績	R元年度目標	R元年度(11月末)	R元年度(見込み)	推進状況
	パスによる紹介件数	(件)	141	130	80	120	C
	脳卒中(脳外科)入院件数	(件)	555	450	327	500	B
	脳血管治療件数	(件)	173	100	71	100	B

2 医療の質の向上

(3) 幅広い糖尿病治療により選ばれる病院の構築

主な取組目標	<ul style="list-style-type: none"> a. 糖尿病教室 b. 外来や予防指導の充実 c. 糖尿病患者への栄養指導 d. 専門知識を持つスタッフの育成 	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> a. 毎月(1月・8月を除く)継続して、参加型糖尿病教室を実施している。糖尿病教育入院も継続中である。 b. 昨年度同様、管理栄養士側から継続指導の依頼・提案を行っている。 c. 患者の理解状況に応じて、指導を行っている。当日依頼に対応できるよう業務調整を行い、積極的に受けている。 d. 糖尿病療養指導士を中心に、院内研修の企画実施、さらに院外研修や学会への参加支援を積極的に行っている。 	自己評価
				B

主な実績	項 目				H30年度実績	R元年度目標	R元年度(11月末)	R元年度(見込み)	推進状況
	入	院	透	析 (件)	1,259	1,100	696	1,100	B
	外	来	透	析 (件)	6,000	6,500	3,904	6,000	B
	栄	養	指	導 合 計 (件)	2,433	1,800	1,368	1,900	B
	N	S	T	介 入 件 数 (件)	1,412	1,200	870	1,300	B

2 医療の質の向上

(4) 資格取得などによる医療提供力の強化

主な取組目標	<p>a. 認定看護管理者教育課程受講</p> <p>b. 認定看護師教育課程受講</p> <p>c. 保健師助産師看護師実習指導者講習受講</p> <p>d. 臨床研修指導医講習受講</p>	取組状況	<p>a. ファーストレベル：2名 セカンドレベル：1名</p> <p>b. 感染管理：1名</p> <p>c. 保健師助産師看護師実習指導者講習：1名</p> <p>d. 臨床研修指導医講習：1名 近畿厚生局指導医講習：1名</p>	自己評価		A
主な実績	項 目	H30年度実績	R元年度目標	R元年度(11月末)	R元年度(見込み)	推進状況
	資格・認定取得者数 (人)	7	7	6	7	A

3 経営資源の強化

(1) 入院収益の確保

主な取組目標	a. 急性期一般入院料 1 b. 大腿骨頸部骨折の救急患者受入れ 早期手術の実施（48時間以内） c. 施設基準の取得	取組状況	a. 急性期一般入院料 1 を維持するため継続的な看護職員の確保に努めながら、重症度、医療・看護必要度の評価項目の精査及び精度向上を図っている。 b. 多職種連携によるチーム医療の体制づくりを行い、運用している。また、消防との勉強会を実施し、患者数確保に努めた。 c. 産婦人科医を増員することで、ハイリスク分娩管理加算の算定を開始した。	自己評価
				B

主な実績	項目		H30年度実績	R元年度目標	R元年度(11月末)	R元年度(見込み)	推進状況
	1日平均入院患者数	(人)	298.2	293.0	282.9	288.0	C
	病床稼働率	(%)	93.2	89.4	88.4	90.0	
	1人1日入院診療単価	(円)	49,577	51,100	50,986	51,300	A
	入院収益(1月当り)	(億円)	4.50	4.56	4.40	4.51	B

3 経営資源の強化

(2) 外来収益の確保

主な取組目標	a. 救急医療体制の強化	取組状況	a. 消防との意見交換会を実施するなど、連携強化を図ることにより、積極的な救急患者の受入れ・確保に努めている。	自己評価 A
	b. 造影検査枠の拡充		b. 予約枠を3／週から毎日に拡充し、より多くの造影検査を実施することが出来る体制を確立した。	
	c. 地域の医療機関との連携強化 (情報共有・情報提供)		c. 病院の取組みに関する情報提供を行うため、地域の医療機関へ積極的な訪問を行っている。また、他院応援医師の対応による呼吸器外科、心臓血管外科を開設し、外来患者の獲得に努めた。	

主な実績	項目		H30年度実績	R元年度目標	R元年度(11月末)	R元年度(見込み)	推進状況
	1日平均外来患者数	(人)	500.3	530.0	484.2	530.0	A
	1人1日外来診療単価	(円)	13,754	14,500	14,091	14,500	A
	外来収益(1月当り)	(億円)	1.40	1.54	1.38	1.54	A

3 経営資源の強化

(3) その他収益の確保

主な取組目標	a. 人間ドック受診枠の運用	取組状況	a. 一泊人間ドックの受診枠と日帰り人間ドックの受診枠を臨機応変に変更して対応した。	自己評価 B
	b. 協会けんぽ健診午後枠の設定		b. 協会けんぽ健診の受診枠について、平成30年11月から毎週水曜日午後に最大4人までの受診枠を設定したため、受診が増加している。 (ジャパンマンモグラフィーサンデーとして、日曜日に乳がん検診を実施した。)	

主な実績	項 目		H30年度実績	R元年度目標	R元年度(11月末)	R元年度(見込み)	推進状況
		成人病検診	(人)	697	700	560	800
	一泊人間ドック	(人)	49	60	38	50	B
	日帰り人間ドック	(人)	515	530	428	540	A
	乳腺ドック	(人)	22	25	17	22	B
	乳児・新生児健診	(人)	305	300	215	340	A
	妊婦健診	(人)	2,127	2,200	1,619	2,400	A

3 経営資源の強化

(4) 医療技術部門の取組（ア 薬剤業務）

主な取組目標	<ul style="list-style-type: none"> a. 薬剤師の入院棟配置 b. 抗がん剤調製の100%実施の維持（休日対応含む。） c. 後発医薬品の採用促進 d. 医薬品情報等の情報提供強化 e. チーム医療 	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> a. 病棟薬剤業務は、20時間／週を維持している。病棟一般注射混合業務と配薬セット業務は、継続中である。 b. 抗がん剤調製業務量は、100%実施中。 c. 薬事委員会で後発医薬品への切替えを検討し、順次切り替えている。 d. 院内LAN等を利用し、情報提供を行うとともに、他部門と共催で勉強会等を開催し、情報の共有化を強化している。 e. 感染制御認定薬剤師に合格した者が、AST業務に参画し、積極的にチーム医療に取り組んでいる。 	自己評価 B
--------	---	------	--	--

主な実績	項目		H30年度実績	R元年度目標	R元年度(11月末)	R元年度(見込み)	推進状況
	ハイリスク指導件数	(件)	3,952	4,150	2,842	4,150	A
	その他指導件数	(件)	6,571	6,250	4,311	6,275	B

3 経営資源の強化

(4) 医療技術部門の取組（イ 検査業務）

主な取組目標	<p>a. 人材の確保・育成</p> <p>b. 各科からの検査要求対応</p> <p>c. チーム医療への参画</p>	取組状況	<p>a. 各種認定検査士の育成。 特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習免許：1名 検体検査管理責任者免許：1名 日本乳がん検診精度管理中央機構超音波部門 A評価を取得：1名</p> <p>b. 幹細胞移植、マルク検査を含む検査結果を迅速に報告。 緊急手術前検査（血管エコー等）の対応。 予約枠の増加希望に柔軟に対応している。</p> <p>c. 感染管理（ICT・AST）、栄養サポート、糖尿病療法指導等への参画。</p>	自己評価
	B			

主な実績	項目		H30年度実績	R元年度目標	R元年度(11月末)	R元年度(見込み)	推進状況
	超音波検査件数	(件)	8,577	8,600	5,753	8,630	A
	肺機能検査件数	(件)	1,814	1,860	1,252	1,878	A
	重心動揺検査件数	(件)	13	10	0	0	C
	脳波検査件数	(件)	368	330	168	252	C
	A B I 検査件数	(件)	721	700	447	671	C
	心電図検査件数	(件)	9,119	9,100	5,933	8,900	C

3 経営資源の強化

(4) 医療技術部門の取組（ウ 放射線業務）

主な取組目標	a. 3.0テスラMRIの運用 b. 機器の更新 c. スタッフの育成	取組状況	a. 平成26年7月から稼働している。 紹介患者を積極的に受け入れている。 b. 計画的に機器の更新に伴い、業務の効率化 業務量の確保に努める。 c. 第1種放射線取扱主任者、放射線技師実習 施設指導者、放射線治療認定技師、画像管理 認定技師を養成している。 線量管理システムの構築に努めている。	自己 評価
	B			

主な実績	項目		H30年度 実績	R元年度 目標	R元年度 (11月末)	R元年度 (見込み)	推進 状況
	C T	件数 (件)	16,409	16,500	10,919	16,400	B
	M R I	件数 (件)	6,027	6,050	4,130	6,200	A
	R I	件数 (件)	408	425	192	290	C
	マ ン モ	件数 (件)	1,453	1,500	1,029	1,540	A
	ア ン ギ オ	件数 (件)	371	380	247	370	C
	骨 塩 定 量	件数 (件)	1,169	1,200	851	1,280	A
	一 般 撮 影	件数 (件)	25,441	25,500	16,879	25,320	C

3 経営資源の強化

(4) 医療技術部門の取組（エ リハビリテーション業務）

主な取組目標	<ul style="list-style-type: none"> a. 地域包括ケア病棟の施設基準であるリハビリ2単位以上を維持 b. 心臓大血管リハビリテーション料（Ⅰ）の施設基準の取得 c. 1日1人取得目標単位数は「18単位」 d. リハビリ3連休の解消 e. スタッフの育成 	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> a. 地域包括ケア病棟の施設基準であるリハビリ2単位以上を維持している。 b. 施設基準を取得できていない。 c. 11月末の平均単位数は、17.9単位、12月末の平均単位数は、18.4単位である。 d. 継続中である。 e. がん患者リハビリを算定できるスタッフを育成 認知症臨床作業療法士育成研修を受講 リンパ浮腫複合的治療料実技研修を受講 	自己評価 B

主な実績	項目		H30年度実績	R元年度目標	R元年度(11月末)	R元年度(見込み)	推進状況
	脳血管疾患リハ単位数	(単位)	23,046	31,000	17,174	25,761	B
廃用症候群リハ単位数	(単位)	17,836	20,000	12,551	18,827	B	
運動器リハ単位数	(単位)	13,732	16,000	9,166	13,749	B	
呼吸器リハ単位数	(単位)	105	100	145	218	A	
摂食療法リハ単位数	(単位)	1,094	800	823	1,235	A	
がん患者リハ単位数	(単位)	410	450	368	552	A	

3 経営資源の強化

(5) 地域医療連携への取組

主な取組目標	<ul style="list-style-type: none"> a. 地域医療支援病院承認要件の維持 b. パスによる連携強化 c. 地域医療機関との連携 d. 退院調整の強化 	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> a. 紹介率向上に向けて、地域医療連携パンフレット、地域連携だよりを作成し、連携先の医療機関に送付している。 b. 脳卒中、大腿骨地域連携診療計画管理料の連携先病院を追加した。 c. 病院担当医と開業医との連携に漏れがないよう連携業務の整理を行っている。 d. 入院早期から、退院困難な要因のスクリーニングを行い、病棟看護師とカンファレンス後、多職種協働で退院支援を行い、在院日数の短縮を図っている。 	自己評価 B
--------	---	------	---	----------------------

主な実績	項目		H30年度実績	R元年度目標	R元年度(11月末)	R元年度(見込み)	推進状況
	紹介率	(%)	65.4	65.0	64.5	65.0	B
	逆紹介率	(%)	65.4	63.0	67.9	67.9	A
	退院支援加算I	(件)	2,120	2,120	1,564	2,346	A
	介護支援連携指導	(件)	527	555	389	584	A
	退院時共同指導	(件)	74	80	62	93	A

3 経営資源の強化

(6) その他の取組・強化

主な取組目標

〔診療報酬の適切な請求等の強化〕

- a. 診療報酬改定に伴う情報提供
- b. 診療報酬査定・返戻の分析及び医師への提言

〔経費削減〕

- a. 業務改善の推進
- b. 医薬品、診療材料の値引きの促進
- c. 効率的な施設運営による光熱水費節減

〔その他〕

- a. 滞納者への職員夜間訪問の継続
- b. 滞納者に対する再来自動受付機の使用制限による直接受付時の面談実施
- c. 第11回西脇病院フェスタの開催
- d. ボランティアの受け入れ
- e. 看護業務の平均化への取組み
- f. 手術室2名宅直体制への移行

取組状況

- a. 診療報酬請求の精度を高めるため、管理運営会議や医師会議で、改正後の留意点、詳細不明コードなどの資料提供と説明を行った。
- b. 査定・返戻の内容を精査し、必要の都度各診療科や医師へ確認及びフィードバックを行った。

- a. 業務改善委員会を開催し、検討を進めている。
- b. 効率的な値引きの促進を行った。
- c. 使用料の削減に努めている。

- a. 引き続き、職員による夜間訪問を実施している。
- b. 滞納者に対する再来自動受付機の使用制限による直接受付時の面談督促を継続。
- c. 7月27日に第11回西脇病院フェスタを開催した。
- d. 縫製、植栽等のボランティア等を受け入れた。
- e. 各部署間の応援体制を継続している。
- f. 手術室の2名宅直体制に移行し、継続。

自己評価

A

4 職員の確保と意欲向上

(1) 医師確保

主な取組目標	<ul style="list-style-type: none"> a. 公募等積極的な募集 b. 病院見学、病院説明会 c. 院内保育所の有効活用 d. 医師事務作業補助者による医師の事務処理の軽減化 	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> a. 西脇病院の魅力のアピールとホームページによる積極的な医師募集や、業者紹介医師への対応を強化した。 b. 病院見学の実施及び病院説明会等の参加。 c. 平成26年度より、医師が通常保育を利用している。 d. 医師事務作業補助者の充実を図り、医師の事務軽減を図っている。 	自己評価
	B			

主な実績	項目		H30年度実績	R元年度目標	R元年度(11月末)	R元年度(見込み)	推進状況
	医師	数 (人)	50	55	53	53	B
	研修医	数 (人)	14	15	14	14	B

4 職員の確保と意欲向上

(2) 看護師確保

主な取組目標	<ul style="list-style-type: none"> a. 院内保育所の有効活用 b. 看護学生へのワークショップの継続 c. 修学資金制度の継続実施 d. スキルアップのための研究、研修会への参加支援 e. 確保・離職防止のための改善の検討強化 f. 看護学校へ講師派遣と実習生受入れの充実 g. 看護学生アルバイトのインターシップ化 	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> a. 院内保育による育児短時間勤務を活用した看護師の早期復帰。 b. 看護学生に対し、夏休みを利用したワークショップを実施した。 c. 修学資金制度を継続中である。 d. 積極的な研修参加の推進と参加支援を継続している。 e. フレックスタイムの活用や部署間の応援体制を継続している。 f. 継続して実施している。 g. 継続中である。 	自己評価
	B			

主な実績	項目		H30年度実績	R元年度目標	R元年度(11月末)	R元年度(見込み)	推進状況
	奨学資金貸与者数	(人)	20	16	20	20	B
	年度末正規看護職員数	(人)	260	270	267	267	B

4 職員の確保と意欲向上

(3) 職員の意欲の向上

主な 取組 目標	a. 職員満足度アンケートの実施 (年2回)	取 組 状 況	a. 年2回(5月・11月)実施した。	自己 評価
	b. モチベーションアップチームの活動継続		b. 職員満足度アンケートの実施、その他の活動内容を引き続き検討している。	<h1>A</h1>
c. 参加しやすい院内研修	c. 計画的に、感染対策研修会・院内研究発表会・接遇研修等を開催している。			
d. 院外研修への参加支援	d. 医療技術職や看護職等、各種研修会への参加を支援している。また、各学会や学術集会等に参加し、各分野での取組みを発表している。 全国自治体病院学会：3人 日本医療マネジメント学会：6人(予定)			
e. 西脇病院フェスタの継続実施	e. 第11回西脇病院フェスタ(7月)を開催した。			

5 再編・ネットワーク化

取 組 状 況	・ 相互医師派遣		自己 評価	
		西脇病院から派遣	西脇病院へ派遣	A
	多可町内診療所	内 科 (H23.2~)	—	
	多可赤十字病院	皮 膚 科 (H23.1~) 総 合 診 療 (H27.8~H29.8) 外 科 (H27.8~H29.7) 内 科 (H31.4~)	人工透析 (H29.9~)	
	加東市民病院	皮 膚 科 (H23.4~) 内 科 内 視 鏡 (H26.4~H31.3)	血管外科 (H21.4~)	
	県立丹波医療センター (県立柏原病院)	放 射 線 科 (H20~)	—	
	公立八鹿病院	麻 酔 科 (H31.4~)	—	
	公立豊岡病院	麻 酔 科 (R元.6~)	—	
・ 地域医療連携システム「北はりま絆ネット」の本格運用を継続中				